



善前小だより

No.2 令和元年5月号

4月26日 発行

住所 南区太田窪2500番地1

電話 882-7871 FAX 811-1329

ホームページ <http://zenmae-e.saitama-city.ed.jp>

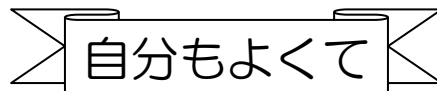
「善力前進」ともに伸びよう 善前小 ～はずむ心 きたえる体 学ぼう創ろう「みどりの学園」～

自分もよくて みんなもよい

校長 小田切 倫子

例年よりもゆっくりと花を楽しませてくれた桜の木には、青々とした若葉が茂り、風薫るすがすがしい季節となりました。

平成31年度がスタートして、間もなく1か月が経とうとしています。授業も本格的に始まり、子どもたちは課題に対して一生懸命取り組んでいます。どのような勉強でも、まずは、自分なりの考えをもつことが大切です。そして、お互いの考えを伝え合うことを通して、考えを広げます。また、友達の考えから、自分とは違う解き方や価値観などを知り、学びを深めるのです。もちろん、勉強だけではありません。休み時間や給食、そうじなど、様々な生活の場面においても、子どもたちは学び合いながら成長しています。



このことを軸として、善前小学校の教育活動を展開していきたいと思っています。昨年度は、「心をこめる」という言葉をいつも心に留めていました。子どもたちにも、折に触れ、「心は 言葉で表そう 心は 態度で表そう 心は 形に表そう」とメッセージしてきました。この「自分もよくて みんなもよい」という言葉も、学校生活のたくさんの場面で子どもたちに語っていきたくと思っています。学校は、小さな社会です。「自分だけがよい」は、わがままです。反対に、自分の全てを犠牲にしてまで「みんながよい」にすることはありません。「自分もよくて みんなもよい」ことが肝心です。小学校は、1年生から6年生まで在籍し、発達段階に大きな幅がありますから、「自分」と「みんな」の理解にも大きな幅があります。小さい学年は、「自分」を客観的に捉えたり、相手の立場に立って考えたりすることは難しいものです。また、高学年になるほど、下の学年のことや周りのことを気遣い、「みんな」を優先させなければならない状況が増えるものです。改めてこの切り口で考えてみると、大人になるほど「みんな」を優先させる比重が大きくなっていくことに気付きます。友人、同僚、恋人、家族 etc.……。成長する上で、また、大人になっても、この「自分もよくて みんなもよい」と考えられることはとても重要なことだと考えます。

「平成」は間もなく終わりを告げ、いよいよ「令和」の新しい時代が始まります。将来の変化を予測することが困難な時代とも言われますが、いつの時代でも、変わらず大切にしなければならないこともたくさんあります。自分も、みんなも大切にできる力を、保護者や地域の皆様とはぐくんでまいりたいと思います。どうぞ、よろしく願いいたします。